

2009年12月17日

株式会社SOBAプロジェクト

テレビ会議導入のトータルコスト削減に SOBA mieruka(ソーバミエルカ)サーバー導入型発売

2009年12月18日発売

フレームワーク型テレビ会議システムを開発販売するSOBAプロジェクト（京都市下京区・代表取締役社長 緒方 敏博）は当社が開発し販売するASP型のテレビ会議「SOBA mieruka」を企業内にシステム導入する「SOBA mieruka サーバー導入型」を2009年12月18日に発売します。価格は20ユーザーで80万円（税抜き）から。

システム導入でコスト削減

SOBAプロジェクトが2006年12月から販売する「SOBA mieruka（ソーバミエルカ）」はパソコンとインターネット環境があればすぐに使えるテレビ会議システムです。従来は必要なユーザー数（同時接続数）を契約し月額料金を支払うASP形式で販売していましたが、今回テレビ会議利用数の多い法人ユーザー向けに初期に社内システムに導入するサーバー導入型を発売します。サーバー導入型は初期導入費用のみで20ユーザーで80万円から。従来のASP型で20ユーザー契約の月額8万円（税抜き）と比較すると、サーバー導入型ではASP型の1年分以下のコストに抑えることができるため、社員数が多くテレビ会議の利用数も多い場合、大幅なコスト削減が可能です。また社内サーバーに設置するため、インターネットに接続できない環境でも社内LAN上でテレビ会議が利用できます。

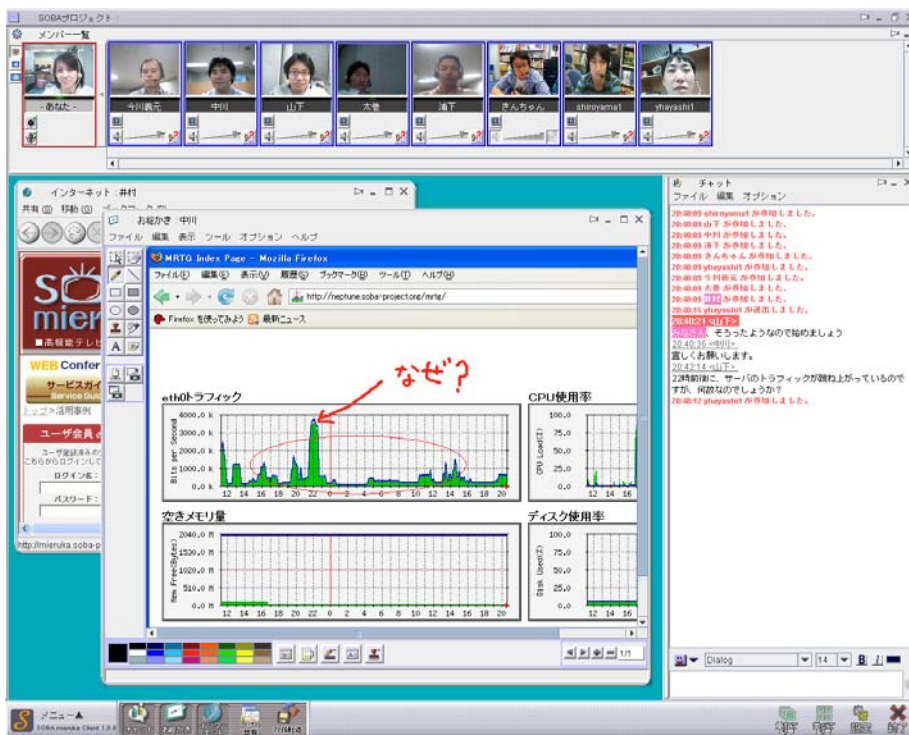
経費削減・パンデミック対策にテレビ会議導入が急増

不況の経費削減対策や新型インフルエンザ流行時の危機管理対策として、人が集まらずに打合せができるテレビ会議の導入が急速に増えています。特にパソコンを使うタイプの当社「SOBA mieruka」同様のWEB会議とよばれるテレビ会議システムは、手軽で導入コストを抑えることができるので市場も拡大していると言われています。また従来のように会議室と会議室を結んでのハード設置型と比べ、WEB会議システムは個人同士の打合せに向いているため、社内電話とメールでの打合せの代わりとして、離れた拠点の社員同士が話す社内コミュニケーションの促進ツールとしてなど、用途も広がっています。

■「SOBA mieruka サーバー導入型」概要

- ・ 発売日：2009年12月18日 ・ 販売価格：20ユーザー 80万円（税抜き）から
- ・ 主な仕様：P2P方式、LAN内通信機能、同時参加会議数無制限、USBカメラ・DVカメラ接続可
- ・ 主な機能：ビデオ会議、録画機能、ホワイトボード、アプリケーション共有・WEBブラウザ共有、ファイル転送、文字チャット 等
- ・ 目標販売数：来年度100セット

■ 「SOBA mieruka」 使用例



参加者が作成した資料を全員で共有しながら会議できます。しかもテレビ会議上で全員が資料に書きこむことも可能。

録画機能を使えば、議事録代わりに会議映像を残せます。

会社概要

会社名	株式会社 SOBA プロジェクト (SOBA Project, Inc.)
所在地	〒600-8813 京都市下京区中堂寺南町 134 番地 京都リサーチパーク 2 号館 2 階 <京都本社> TEL 075-323-6066 / FAX 075-323-6067 <東京支社> 〒105-0021 東京都港区東新橋 2-10-10 東新橋ビル 2F-2
URL	http://www.soba-project.com
代表者等	代表取締役社長 緒方 敏博 ・ 取締役副社長 乾 和志
資本金	6,850 万円
主要株主	オムロン株式会社 野村リサーチアンドアドバイザー株式会社 他
従業員数	10 人 (2009 年 10 月現在、役員含む)
事業内容	・ WEB 会議システムの企画、研究開発、販売 等
業績	売上高 約 100,000 千円 (2009 年 6 月期)

株式会社 SOBA プロジェクト <http://www.soba-project.com>
 広報担当：取締役副社長 乾 和志 e-mail : inui@soba-project.com
 〒600-8813 京都市下京区中堂寺南町 134 番地 京都リサーチパーク 2 号館 2 階
 TEL 075-323-6066 / FAX 075-323-6067
 (広報支援：AG プロジェクト榎佐竹 TEL：075-384-1500/携帯：090-1710-3528)